

平成19年度「基礎・基本」定着状況調査 結果報告

広島県内の公立小学校 5 年生全員を対象として実施されました「基礎・基本」定着状況調査の結果につきまして、報告させていただきます。なお、5 年生の保護者と学校協力者のメンバーの方々には、すでにご報告し、説明をさせていただきました。

趣旨 この調査は平成 14 年度より実施され、学習指導要領に示されている目標および内容に基づき、「読み・書き・計算」などの基礎的な内容や、思考力・判断力・表現力などの定着状況を把握することと、児童の生活や学習に関する意識や実態を把握することを通して自校の課題をつかみ、指導内容や指導方法の改善・充実を図ることをねらっています。

調査内容 国語、算数における前学年までの学習内容の定着状況。
生活と学習に関する意識・実態についての児童質問紙調査。
平成 19 年度は、問題の 2 割程度を、より思考力・表現力を必要とする問題になっています。

通過率

教科	県平均	市平均	井口台
国語	64.2	63.7	67.7
算数	75.6	75.8	81.3

課題と改善点

国語

・ 「話すこと」「聞くこと」「言語事項」については、いずれも平均より高いのですが、「書くこと」に課題があります。理由を明確にしたり、段落のはっきりした文章を書くトレーニングをしたりして、力をつけていきたいと考えます。

算数

・ 算数の通過率は毎年平均を上回っています。今回も全体的に良くできています。特に通過率 30% 以下の児童がいないことは、大変素晴らしいことです。また、四則計算はとて良くできています。チャレンジタイムなどの成果でしょう。ただ、「量と測定」では、問題文を正しく読み取り、見通しをもち筋道を立てて考える力をつけ、応用力をつけていきたいと思ひます。

生活と学習に関する意識調査

詳しくは 2 ページにのせていますのでご覧ください。

全体として

- ・ 教科全体の平均では、国語、算数ともに、県や市の通過率より上回っています。
- ・ 朝食はきちんととり、基本的な生活習慣は身につけている児童が多く、落ち着いた状況です。
- ・ 友達や家の人、先生は、自分のことをわかってきていると思う児童が多く人間関係は良好です。
- ・ 今後は、論理的思考力や自分の思いを言葉で伝え合える力をつけていきたいと考えています。

生活と学習に関する意識調査

(1) 生活・学習

改善したい点	今後の具体的な取組みの内容
<p>生活習慣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での読書がやや少なめである。背景の1つとして、テレビの視聴が長いことが考えられる。 <p>論理的思考力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理的に説明していくことが苦手である。それは、読書量が少ないことや、テレビ視聴が長いことが、受動的な態度につながっていると考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での読書の機会を増やしていくよう、この結果を家庭にも知らせ、学校だよりなどで啓発していく。 ・学校でも読書タイム、図書的时间などを、継続して取り組んでいく。 ・自他ともに、認めあえる場の設定や、学級集団作りをする。 ・自分の考えを順序よく書き表す機会をさらに持たせる。

(2) 教科

教科	児童の回答と学校の指導についての課題	授業改善の方向性や具体的な取組み
国語	<p>国語の学習が「好き」という児童は5割強で、「授業が楽しみ」という児童は過半数を下回っている。</p> <p>教材や指導方法に工夫が必要だと思われる。</p> <p>授業の中でメモを取りながら聞く児童が4割未満である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の親しみやすい教材を利用して、学習意欲を高めていくように工夫する。 ・「聞く・話す」などのコミュニケーション力を高める取組みを行う。 ・朝のチャレンジタイムなどで子どもたちが自主的に取り組める場を設定していく。 ・メモを取りながら聞く機会を取り入れていく。
算数	<p>算数の授業が好きで、理解できていると思っている児童が8割程度いる。</p> <p>算数があまり好きでない、あまり分からないと答えた児童への取組みをしっかりと考えていかなければならない。</p> <p>理由をあげて自分の考え方や解き方を説明できる児童が5割弱で、他の項目に比べると低くなっている。</p> <p>理由や考え方もしっかりださせるような授業展開を考える必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間明確な目標を設定し、達成できるように指導を工夫する。また、目標を達成できたかどうか評価を繰り返す。 ・具体的な操作や具体物の提示などを単元に応じてしっかり行っていく。 ・ノートに式や答えだけでなく、「どうしてそのように考えたのか。」という理由も一緒に書き込ませるようにしていく。